

当院の現状報告（令和 2 年 5 月 17 日）

5 月 17 日現在における院内の状況についてお知らせ申し上げます。

最初に、今日までに 43 名の入院患者様が感染判明後にお亡くなりになり、心よりご冥福をお祈りいたしますとともに、ご家族の皆様に深くお詫び申し上げます。血液内科に入院中の 23 名の患者様が亡くなりましたことにつきましては、血液疾患患者様の感染についての注意勧告を目的として、当該科より日本血液学会に緊急報告を上げております。

現在入院中の PCR 陽性患者様は 11 名です。PCR 法で 2 回の陰性が確認されますと退院可能になりますが、11 名中 4 名は第 1 回目の陰性確認が終了しております。陽性患者様の減少に伴い、感染者専用病棟を 1 病棟に集約いたしました。

入院中の患者様やそのご家族の方々には主治医より適宜状況を説明いたしておりますが、ご要望やご質問などございましたら、相談窓口までご連絡をお願いいたします。

また、外来を予約されている患者様につきましては、外来休止以降、定期的に主治医より連絡し、状況をお伺いした上で受診日の延期や他院へのご紹介などのご相談をいたしております。これにつきましても、ご不安な点などございましたら、相談窓口にご連絡をお願いいたします。

職員につきましては、委託業者の方を含め 83 名に感染が及びましたが、現在までに 74 名の陰性化が確認され、順次職場に復帰いたしております。

院内の環境消毒につきましては、ゴールデンウィーク中に、一部使用中の病棟以外全体の消毒が終了いたしました。キセノン紫外線照射殺菌装置も導入し、病棟、外来、検査室などで安全な環境を確保するために随時使用する予定です。また、新たな入院の受け入れや緊急手術時などの感染防止のために、PCR 法よりも迅速な診断が可能な LAMP 法の運用も開始いたしました。

現在、外来診療の再開に向けて準備を進めておりますが、まずは、十分な感染防止対策を整えた上で、密な状態を避けるために限定した再来患者様の予約外来から再開いたします。紹介初診患者様等につきましては、順次、安全性を確認しながら、外来枠を拡大してまいります。外来と入院の再開につきましては、決定後に速やかにホームページでお知らせいたしますので、今しばらくお待ち下さいますようお願いいたします。

5月15日には院内環境消毒や手術室陰圧化など感染対策に関わる費用として、台東区から中核病院運営支援助成金が支給されることが決まりました。

5月16日には、橋本岳衆議院議員、自見英子参議院議員に当院を訪問していただき、現状のご説明の後、院内の視察や様々な質疑応答が行われました。

なお、当院の取材についてお願いがございます。

最近、当院職員や財団関係者に対して、自宅訪問や通勤途中での声掛け、後を追いかけての取材が多発し、業務への支障も危惧されます。当院における感染の経過や現状については、本ホームページ上の「当院の現状報告」や厚生労働省クラスター対策班による「永寿総合病院調査チーム支援報告」等に記載しておりますので、ご参照いただければと思います。今後も、本ホームページ上で当院からの情報発信を行いますので、職員や関係者への直接の取材はご遠慮いただきますようお願い申し上げます。

これまでのお寄せいただきましたお励ましやご支援は約250件に及びました。

職員一同より深く御礼申し上げます。

永寿総合病院 院長 湯浅祐二